

TGCはやっぱりすごい！

JJ1SXA/池

「第1級アマチュア無線技士或いは第1級アマチュア無線技士相当の免許の所持者であり、且つ 500W 以上のアマチュア無線局免許をもっていること」、これが、TGC メンバーになるための入会資格だ、新たに TGC メンバーになるには、会員 2 名以上の推薦を受け、会員の承認を得ることとなっている、TGC は Top Gun Club (トップガンクラブ) だ。

毎週土曜日、7MHz 帯の、任意の周波数で 07:00JST から15分間、TGC ネット(パイルアップゲーム)を行っているが、これが半端じゃ無い、15 分間だが、毎回 50~60 局前後のチェックイン局を捌いている、キー局は交代でやっているが、パイルを聞く耳は凄いの一言だ、15 分で 60 局との QSO は、1 分間に 4 局を捌かなければいけない。

TGCメンバーのみでなく、メンバー以外も参加できるが、TGC ネットを楽しんでいただくために、「コールはフルコールサイン一回きりです、遅延コール、連続コールはお止め下さい」となっている。

キー局が自由に当日のネット周波数を選び、参加局はその周波数を見つけて、ゲームに参加する、キー局はネット終了後、TGCメンバーに連絡を取り内密に次週のキー局を決める、次週キー局には基本TGCメンバーを指名するが、キー局が責任をもって指名すればTGCメンバー以外でも構わない、TGCメンバー以外のキー局は次週のキー局をTGCメンバーに戻すこととなっている。

最近の、チェックイン局数を見ると、11月25日は、キー局はJH1SJS局で、51 局だった、流石7MHz、JAの全エリアからコールされる、モバイル局のチェックインもある。

ちなみに、8月19日は、7.147MHzで、07:00~07:15 にキー局、JF1UMK(ご存じ、元CQ誌編集長の富永OM)で、58局のチェックイン局を捌いている。

土曜日朝7時に時間の取れる局はワッチしてみてください、7.140MHz前後の周波数帯です、もちろんチェックインもOKですが、フルコールサイン一回きりですよ。

TGCは、1995年11月に、当時のトップDXサー11局でスタートしたようだ、創立メンバーには、FTIのJA1IST藤原OMが入っている、2017年8月現在は80局のメンバーがいるようだ、藤原OMは、本業は他人任せで海外からのQRVに力が入っているようだ、タワーに上ってアンテナ工事をする気さくな人物とトップDXサーの顔が一致し難い、ちなみにJA1ISTは、2015年4月1日をもって一旦廃局した、JA1ISTを名乗るアンカバ局に悩まされたためとのこと、現在は、JE6JNC(福岡県糸島市)とDU1IST(フィリッピン)でQRV。

TGCのホームページで見られる、メンバー各局のアンテナ写真を見るとタワー上にはすごいアンテナが乗っていて壮観だ、タワーが複数(2~5本)建っているのもすごい。

最初、トップガンクラブと聞いて、何を偉そうにと感じた局は多かったようです、偉そうにアピールするだけのことがある、まず広いアンテナファームに複数タワーを建て、HFのローバンドでもフルサイズの八木を上げている、それ以外にも、QSO技術(パイル捌き)が半端じゃ無い、トップガン名乗る資格は十分、一般のハムでは足元にも及ばない。

私も、免許証、免許状は会員資格を満たしているが、ただそれだけの話、とてもメンバー入りは無理の一言、アンテナが無い、交信技術は未熟。

TGCのHP(<http://www.top-gun-club.net/>)からピックアップした一部の局の写真



JE1KEY's ANT



JR1CFP's ANT



DU1IST(ex JA1IST)'s ANT

DU1ISTのフィリピンでのアンテナファームは、八王子のアンテナファームより広いのか？
工人舎 (<http://www.kojinsha.jp>) のマルチバンド八木アンテナ

スーパーバルサ KA1-411X



7/10MHz 5ele、14/18MHz 7ele、21/24/28MHz 9ele、50MHz 15ele、ブーム長20m(ブームは、そのままタワーになるような代物だ)

VERSAアンテナの構造は、グラスファイバーの中を銅エレメントが、デジタルコントロールされたステップモーターにより伸縮し、10～50メガは全てのアマチュアバンドをフルサイズ八木として動作させる、7メガバンドはフルサイズではサイズが大きくなりすぎるので、AEU (Adjustable element unit) の中にローディングコイルを設置したセンターローディング方式を採用し、約30%短縮されたVP八木アンテナとなっている。

無線機よりのBAND DATAを取り込めば、アンテナは自動的に無線機の周波数に追尾してエレメントの長さを調整するので、バンドを切り替える手間が無いようだ。

アンテナのビーム方向もスイッチ一つで、180度モード、双方向モードとクイックビームシフトを実現している。

広い土地とお金が無ければ設置できない、使って見たいと思っても、庶民ハム(?)は指を咥えて、溜め息ついて眺めるだけ！(hi)

(工人舎のページを開くと、JH1AJT局の画像が出るが、この局は、結構DX界では有名人だったが、2アマの替玉受験で逮捕され、多方面から非難された経験のある局だ、現在は1アマを取得したようだが…)